



2月25日発売
定価:1,870円(税込)
四六判/304ページ
ISBN978-4-09-386603-3

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09386603>

◆手嶋龍一(てしま・りゅういち)

作家・外交ジャーナリスト。NHKワシントン支局長として2001年の9・11テロに遭遇し、11日間の24時間連続中継を担当。独立後に上梓したインテリジェンス小説『ウルトラ・ダラー』、続編の『スギハラ・サバイバル』がベストセラーに。ノンフィクション作品も多数発表。本作品は11年振りの新作小説である。

公安調査庁は、警察や防衛省の情報機関と比べて、ヒトもカネも乏しく、武器すら持たない。そんな最小で最弱の組織に入庁してしまったマンガオタク青年の梶太は、戸惑いながらもインテリジェンスの世界に誘われていく。ある日のジョギング中、ふと目にした看板から中国・北朝鮮・ウクライナの組織が入り乱れた国際諜報戦線に足を踏み入れることに――。

〈初対面の相手に堂々と身分を名乗れず、所属する組織名を記した名刺も切れない――。公安調査官となつて何より戸惑ったのはこのことだった〉

『ウルトラ・ダラー』『スギハラ・サバイバル』に続く著者11年振りの新作小説。

インテリジェンス後進国ニッポンに突如降臨
鳴かずにのカッコウ
手嶋龍一・著



2月26日発売
定価:1,540円(税込)
四六判/224ページ
ISBN978-4-09-310677-1

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09310677>

◆星ひとみ(ほし・ひとみ)

「突然ですが占ってもいいですか?」(フジテレビ系)などメディアで話題沸騰中の人気占い師。巫女の血筋を持つ家系に生まれる。東洋占星術や統計学、心理学などをもとにしたオリジナル運勢鑑定法「天星術」の開祖である。生まれながらの力と経験による知識から導き出す鑑定は圧倒的な中率で人気を集め、各界に多くのファンを持つ。『Cheese!』(小学館)にて「星ひとみ」(天星術)占いを大好評連載中。

いつ会っても幸せな笑顔でいたり、人生がうまく運んでバワフルなオーラに包まれ、すべての運やツキを味方につける人――脅威的中率「天星術」で話題沸騰中の星ひとみ先生が、初めての開運エッセイとなる本書で綴るのは、そんな「幸せ上手さん」に共通する107の習慣。

おうち時間の過ごし方から、掃除に食生活、人付き合いの心得……幸せ上手さんの習慣には、ふとしたこととさきめがあり、それらが幸運を引き寄せているそう。

「もっと幸せになりたい!」「よりよい未来にしたい!」「変わりたい!」と思っているすべての人が、いますぐ生活にとりいれやすい習慣、幸せになるきっかけがきつと見つかるはずですよ。

人気占い師・星ひとみ初の開運エッセイ
幸せ上手さん習慣
星ひとみ・著



2月26日発売
定価:1,540円(税込)
四六判/240ページ
ISBN978-4-09-388794-6

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09388794>

◆池上彰(いけがみ・あきら)

1950年、長野県生まれ。慶應義塾大学卒業後、NHKに入局。社会部記者などを経て、1994年から11年間にわたって、『週刊こどもニュース』のお父さん役を務める。2005年NHKを退職してフリージャーナリストに。現在、名城大学教授、東京工業大学特命教授。その他、立教大学や東京大学でも教鞭を執る。著書多数。

「バイデンが大統領になつても米中間係は悪いまま」「アメリカで『ブルー・ライプス・マター』(警官の命も大切だ)」と言うと、人種差別主義者と思われる。」「アメリカの憲法は黒人奴隷の存在を前提としていた」「人種差別団体KKK(クー・クラックス・クラン)は日本を絶賛している」「奨学金が取れないと、大学卒業時には一千万円単位の借金ができるケースが多い」など、誰もが知る国の知られざる素顔を、都立国際高校での授業を元に、池上彰が徹底解説。混乱を極めた大統領選挙や、燃えあがった「ブラック・ライプス・マター」運動の背景についても、どの本よりもわかりやすく解説しました!

夢と希望の国か? 格差と分断の国か?
池上彰の世界の見方
アメリカ2
超大国の光と陰
池上彰・著



3月12日発売
定価:1,980円(税込)
四六判/402ページ
ISBN978-4-09-386609-5

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09386609>

愛される快感と、「人」を想う難しさ——。

くがつ ここのか じきゅう ふん

9月9日9時9分

一木けい・著

バンコクからの帰国子女である高校1年生の漣は、日本の生活に馴染むことができないでいた。そんななか、高校の渡り廊下で見つけた先輩に、漣の心は一瞬で囚われてしまう。漣は先輩と距離を縮めるが、あるとき、彼が好きな人になってはいけない人であることに気づく。それでも気持ちを抑えることができない漣は、大好きな家族に嘘をつくようになり……。忙しい日本ですと見つけれずにいた、自分の居場所。それを守ることが、そんなにいけないことなのだろうか。過ぎ去ればもう二度と戻らない「初恋」と「青春」を捧げ、漣がたどり着いた決意とは。

三浦しをんさんも大絶賛!! 気鋭の作家が挑む傑作長編、満を持して刊行!

バンコク在住の著者だからこそ描けた、国境を超えた名作!!

◆一木けい(いちき・けい)

1979年、福岡県生まれ。東京都立大学卒業。2016年「西国疾走少女」で第15回「女による女のためのR-18文学賞」読者賞を受賞。同作を収録した『1ミリの後悔もない、はずがない』が業界内外から絶賛され、華々しいデビューを飾る。他の著書に『愛を知らない』『全部ゆるせたらいいの』がある。現在、バンコク在住。



3月15日発売
価格:38,500円(税込)
B5判/104ページ
ISBN978-4-09-480128-6

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09480128>

父・志ん生と弟・志ん朝。ふたりの名人のはざまで、馬生の姿は長らく霞んでいました。没後38年、世に出た音源は多くなく、偏った印象が独り歩きしています。名人が覇を競った東横落語会で、テープに残る馬生口演は105席。その中から初商品化46席を含む50席を、CD20枚に収めました。馬生の音源集成としては過去最大。墨絵のようになりしとり語り上げる『お初徳兵衛』『夢の瀬川』。漫画的なデフォルメの効いた『湯屋番』『垂乳根』。恨みの深さに戦慄する『江島屋』。滑稽の極みから人情漸まで幅広い演目に共通するのは、透徹した人間理解と、深い余韻。父とも弟とも異なる、馬生の本領がここにあります。CD化にあたり、全音源をテープから新たにデジタル・マスタリング。1000人収容の大ホールの熱気も臨場感たっぷりによりみがえります。

◆金原亭馬生(きんげんてい・ばしょう)

古今亭志ん生の長男。昭和18年、15歳で父に入門。昭和24年、十代目金原亭馬生を襲名。ふだんから着物で暮らし、三度の飯より酒を好み、書画や俳句をたしなむ。食道癌に冒されるも、噺家としての人生を全うするため治療を拒否。昭和57年、54歳で早世。弟は古今亭志ん朝。長女は俳優の池波志乃。

初出し46席! よみがえる馬生の本領

じゅうだい きんげんてい ばしょう
とうようらくごかい CDブック

東横落語会 CDブック



3月15日発売
定価:60,500円(税込)
B4判/356ページ
ISBN978-4-09-682350-7

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09682350>

明治から大正時代にかけて活躍した花鳥画の天才・渡辺省亭は、近年、研究者や美術愛好家の間で再評価の機運が高まり、今年3月には東京藝術大学大学美術館を皮切りに大規模な展覧会が開催されるなど、いま注目度がぐんぐんと上がっています。本書は、省亭の代表作150件以上を収載した初の大型画集です。迎賓館赤坂離宮の七宝額原画全点や、初公開の個人コレクションの数々、欧米の美術館が所蔵する作品も収載。花鳥画のほか、美人画、風俗画、風景画など多彩な作品から厳選して紹介します。収録作品のうち70件以上は、この画集のために新たに撮影した画像を使用し、省亭の繊細な筆致がじつくりと鑑賞できる1ページ大の部分アップも多数掲載。美しく上質なビジュアルで、省亭の絵画世界が存分に楽しめる一冊です。

◆山下裕二(やました・ゆうじ)

明治学院大学教授。室町時代の水墨画の研究を起点に、縄文から現代まで幅広く日本美術を論じる。『未来の国宝・MY国宝』(小学館)ほか著書多数。

◆古田 亮(ふるた・りょう)

東京藝術大学大学美術館准教授。東京国立博物館研究員、東京国立近代美術館主任研究員などを経て現職。『俵屋宗達』(平凡社新書)ほか著書多数。

知られざる天才画家! 渡辺省亭初の豪華画集

わたなべ せい しょう
わたなべ せい しょう
渡辺省亭画集

山下裕二/古田 亮・監修



3月17日発売
定価:1,650円(税込)
四六判/240ページ
ISBN978-4-09-386606-4

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09386606>

総武線の通勤ラッシュに揉まれながら、今日もお茶の水の文房具会社に出勤するO・玉恵。そんなある日通勤電車内で、玉恵は、突然知らないおじさんに怒鳴られる。玉恵は、そのむかつくおじさんのことを毎日毎日思いだし、いつしか脳内にそのおじさんの幻影を飼い慣らしてしまう。

もう二度と会うことのない人だと思っていたおじさんを、たまたま街角で見かけた玉恵は、そつとあとをつけてみることに。そんなことを繰り返すうちに最悪な出会いを果たしたはずのおじさんが、気になる存在となり、玉恵の心を大きく占め始め……。

妄想界のCEO辛酸なめ子が、リアルな恋愛を凌駕する妄想恋愛小説を上梓。恋に仕事に頑張るすぎる貴方へ贈る究極の癒やし小説です。

◆辛酸なめ子(しんさん・なめこ)

漫画家、コラムニスト、小説家。著書に『辛酸なめ子の世界恋愛文学全集』『大人のコミュニケーション術 渡る世間は罠だらけ』『愛すべき音大生の生態』『女子校礼賛』、他多数。

電車のおじさん
辛酸なめ子・著

いつもここに推しおじさんを



3月17日発売
定価:3,300円(税込)
A4判/200ページ
ISBN978-4-09-682359-0

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09682359>

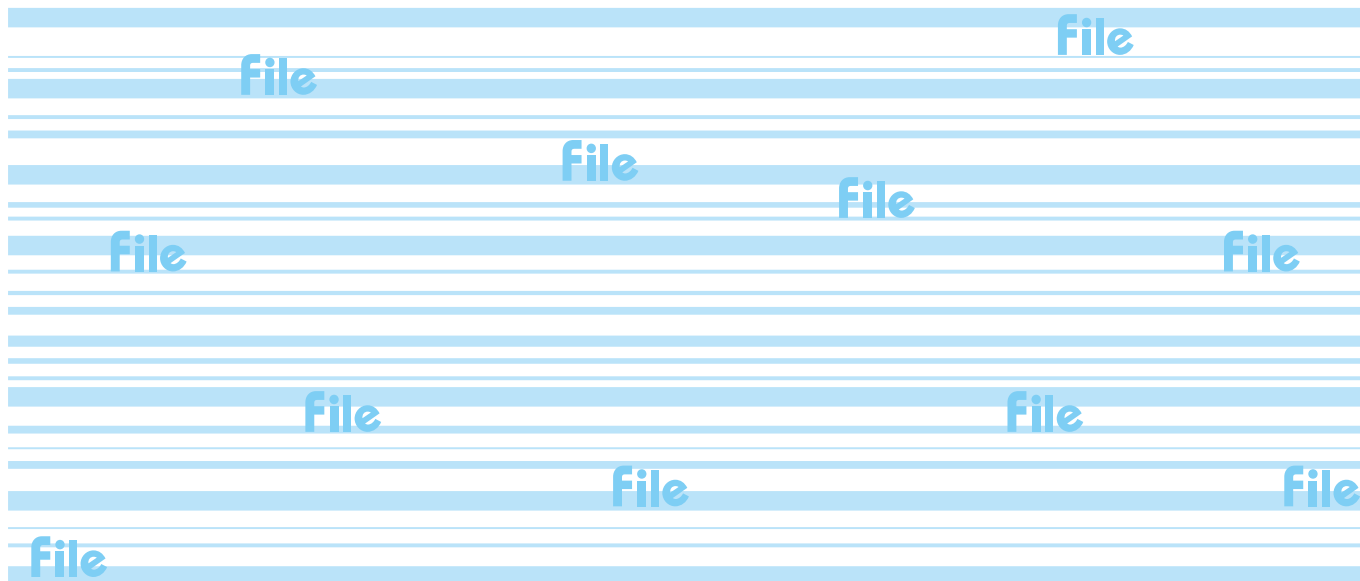
◆宮下規久朗(みやした・きくろう)

神戸大学大学院人文学研究科教授。著書に、『カラヴァッジョ 聖性とヴィジョン』(名古屋大学出版会、サントリー学芸賞など授賞)、『西洋絵画の巨匠11 カラヴァッジョ』『フェルメールの光とラ・トゥールの焰——「闇」の西洋絵画史』(以上、小学館)、『聖と俗——分断と架橋の美術史』(岩波書店)、『美術の力』(光文社)ほか。

カラヴァッジョ原寸美術館
100% CARAVAGGIO!
バーセント
宮下規久朗・監修・著

ローマでの衝撃的なデビュー、一世を風靡した人気画家としての活躍、そして殺人者としての逃亡途中、死の直前まで名画を描き続けた、17世紀バロック絵画を代表する「光と闇の天才無頼画家」カラヴァッジョ。『キリストの埋葬』を含め、初期から晩年までカラヴァッジョの代表作30点を、原寸図版を含めた迫真の大画面(見開きページで最大A3サイズ、29・7×42cm)で掲載。2000年以降、海外で開催された数々の大型展覧会の成果をもとに撮影されたデジタル画像を数多く使用し、既存の画集では不可能だった細部まで克明に再現。カラヴァッジョの魅力と偉大さに迫ります。カラヴァッジョ研究の第一人者として人気が高い宮下規久朗・神戸大学教授の監修・書き下ろし原稿による、本格的ながら初心者にもわかりやすく面白い解説で、名画を読み解きます。

代表作30点を、原寸含む迫真の大画面で再現





3月10日発売
定価: 1,430円(税込)
A5判 / 128ページ
ISBN978-4-09-310676-4

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09310676>

SNSで大人気、1冊目の著書『スッカリ家事でお金を貯める!』も大反響、のこのこの2冊目が登場! リクエストの多い1週間作りおきを中心に、節約術満載のレシピ&4週間分の作りおきメニューを紹介します!

スッカリ家事でお金を貯める! 2 のこのこの節約作りおきレシピ のこのこ・著



3月5日発売
定価: 1,650円(税込)
B5判 / 96ページ
ISBN978-4-09-310678-8

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09310678>

アウトドア料理の3種の神器である、ダッチオーブン、スキレット、メスティンを使ったレシピ集。ガツンと食べ応えのある肉ディナー、手軽なランチやモーニング、さらに子供も喜ぶスイーツまで大公開。キャンプはもちろん、自宅でのパーティーメニューにも最適です。ぜひチャレンジを!

栗原心平のぐちそうキャンプ メスティン・スキレット・ダッチオーブンでつくる極旨レシピ 栗原心平・著

栗原心平のぐちそうキャンプ



3月19日発売
定価: 1,540円(税込)
四六判 / 256ページ
ISBN978-4-09-227245-3

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09227245>

クジラと交信したり魚頭のいる不思議な世界に入ったたりしておかしな子扱いを受ける5人。辛い日常の一方で彼らに起こる不思議で美しい出来事を短編連作で描く。全ての不思議の鍵を握るのは廃墟の遊園地に住む少女!?

迷子の星たちのメリーゴーラウンド 日向理恵子・著 / 六七賢・絵

廃墟の遊園地には、不思議な少女がひとり。



3月17日発売
価格: 5,445円(税込)
A5判 / 400ページ
ISBN978-4-09-941690-4

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09941690>

大好評のタッチペン商品英語図鑑『英会話辞典』の続編企画。2350の英単語と英語の表現が学べる書籍に、英語の歌も聞けるドラえもん特製ボスター(アルファベット・数値、音声ペンがセットに。英検5級対応)。

タッチペンで音が聞ける! ドラえもんはじめての英語辞典 第2版 藤子・F・不二雄・原作 / 宮下いつみ / 中村麻里・編

ドラえもんの音声ペンで学ぶ英和・和英辞典



3月18日発売
定価: 1,650円(税込)
四六判 / 488ページ
ISBN978-4-7979-8852-9

藤原秀郷は、平将門の乱を鎮圧し、東北支配にあたる鎮守府将軍に任命され、のちに源頼朝をはじめとする鎌倉武士から「武芸の開祖」として仰がれた下野(現栃木県)の武将です。後藤太(たわらのとうた)の名で、大ムカデを退治したという伝説でも知られています。本書は、その藤太時代の少年期から将門を討つまでの死闘を綴った大河ドラマです。

藤原秀郷 小説・平将門を討った最初の武士 水野拓昌・著

小学館スクウェアの本
発行元 小学館スクウェア

3月11日発売・配信(ペーパーバックとデジタルで同時、同価格)
<https://pbooks.jp>

なぎの葉考 / しあわせ 野口富士男・著

和歌山、大阪をめぐる旅に出た男が40年前の一夜の記憶を辿っていく「なぎの葉考」のほか、老夫婦がさやかな幸福を噛みしめる「しあわせ」父が入水自殺してしまう「耳のなかの風の声」など全7篇を収録。
定価: 660円(税込) B6判 / 198ページ
ISBN978-4-09-352412-4
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09352412>

暗い流れ 和田芳恵・著

大正時代の北海道を舞台に、貧しい家庭に育った(私)が、少年から青年になるまでの紆余曲折を描いた自伝的小説。〈私〉と家族の性生活や厳しい暮らし向きを、赤裸々に、かつ独特の歯切れのいい筆致で綴る。
定価: 770円(税込) B6判 / 270ページ
ISBN978-4-09-352411-7
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09352411>

いつだって、僕は本と生きてきた。
「P+D BOOKS」今月のラインアップ

小学館文庫

警部ヴィステイング

鍵穴

ヨルン・リーエル・ホルスト・著
中谷友紀子・訳

2021年「このミス」海外編第7位、2019年英訳北欧ミステリ最高賞「ペトローナ賞」受賞の前作に続く「警部ヴィステイング」シリーズ、堂々の第2弾！ 閣僚を歴任してきた大物政治家が急逝した。直後、ラルヴィク警察の主任警部ヴィステイングは検事総長に呼び出される。故人の別荘から、大金のつまった段ボール箱が大量に見つかったのだ。問題の段ボール箱は全部で9箱。紙幣は米ドル、英ポンド、ユーロの三種類で、総額はノルウェーの通貨で8000万クローネを超えていた。ヴィステイングは特権を与えられ、秘密捜査を始める。



◆ヨルン・リーエル・ホルスト
1970年、ノルウェー生まれ。ノルウェー警察元上級調査官。2012年発表の「Jaktundene」邦題「猟犬」で、北欧ミステリ最高の「ガラスの鍵」賞など三冠を獲得した。

3月5日発売
定価：1,100円(税込)
文庫／448ページ
ISBN978-4-09-406655-5

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406655>

小学館文庫

刑事の遺品

三羽省吾・著

津之神西署の調査部長・高岡守はその夜、引き揚げられた水死体を目を疑った。遺体は一カ月前に取り調べた薬物の売人「木村正」。県警の捜査が始まるも不可解なことに被害者の名前以外の情報が出ない。途方に暮れる県警に警察庁から異例の人事で守の兄・剣が着任した。剣は組織にも秘密で、汚名を着せられたまま殉職した父の最後の事件を探る。反目しながらそれぞれの捜査を進める所轄の弟とキャリアの兄。二つの事件が交錯し始めた時、兄弟を導いたのは父が遺した一冊のノートだった。話題作「刑事の血筋」を改題。本物の刑事の息子が綴る警察家族小説！



◆三羽省吾(みつば・しょうご)
1968年、岡山県生まれ。2002年「太陽がイッパイいっぱい」で第8回小説新潮長編新人賞を受賞しデビュー。「ニートニートニート」「ヘタッパ」など著書多数。

3月5日発売
定価：814円(税込)
文庫／352ページ
ISBN978-4-09-406893-1

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406893>

小学館文庫

警視庁特別捜査係

サン&ムーン

鈴峯紅也・著

湾岸・大森・大井、三つの所轄署の管轄で、連続放火事件と連続殺人事件が同時に発生した！ 捜査本部に狩り出された、湾岸署に勤める月形涼真巡査は弔い合戦を決意する。警察学校の同期で、恋人・中嶋美緒の兄でもある健一が殺されたのだ。コンビを組む相棒は、突然会議を割って入ってきた、警視庁の警部補にして、父の日向英生。警察上層部に顔が利く、エリートキャリアで警視監の母・月形明子の差し金らしい。息子の指導係にと、元夫を送り込んだようだ。涼真と英生の親子刑事は遊班として、ふたつの事件解決に奔走する。警察小説第一弾！



◆鈴峯紅也(すずみね・こうや)
1964年、千葉県生まれ。デビュー作「警視庁公安J」で「躍人作家」に。シリーズ作「警視庁絶対特捜K」「警視庁監察官Q」「警視庁浅草東署S.T.I.R.O」が人気を博す。

3月5日発売
定価：902円(税込)
文庫／416ページ
ISBN978-4-09-406894-8

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406894>

小学館文庫

警視庁特殊潜工班

ファントム

天見宏生・著

新興宗教団体を張り込んでいた、警視庁公安捜査第十一係の宮守隼人は、リストに載っていない男を尾行しはじめた。男はマンシヨンの一室を訪れると、玄関先で住人を刺殺。宮守は現場に駆けつけるが、すでに男の姿は消えていた。が、手摺り越しに道路を見下ろした宮守の目に入ってきたのは、墜落した男の死体。なぜ男は墜ちたのか？ 殺害直後、現場で一瞬だけ感じた、謎の視線が関係しているのか。そして、死体安置所に収容された男の顔を見た宮守は動揺する。九年前に起こったある出来事が元で、脳裡に刻まれた男らしいのだ。書き下ろし。



◆天見宏生(あまみ・ひろき)
大阪出身。本作がデビュー作となる。

3月5日発売
定価：792円(税込)
文庫／336ページ
ISBN978-4-09-406895-5

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406895>



◆高殿円(たかどの・まどか)
兵庫県生まれ。2000年に『マダミリア 三つの星』で角川学園小説大賞奨励賞を受賞してデビュー。ドラマ化された『トッカン』シリーズはじめ『ジャッキー・ホームズ』シリーズ、『政略結婚』など著書多数。

3月5日発売
定価:792円(税込)
文庫/336ページ
ISBN978-4-09-406892-4

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406892>

上流階級 富久丸百貨店外部3

高殿円・著

神戸の老舗、富久丸百貨店荳屋川店で唯一の女性外商員として働く鮫島静緒。日本一の高級住宅地のセレブ相手に、今日も奔走する。美容整形に興味があり静緒に試させる女性投資家、息子の中学受験に静緒を巻き込む元CA主婦。「強い」宝石を集めるイラストレーターとの訴訟事件……。そして、プライベートも落ち着かない日々の静緒にヘッドハンティングの話が。同居する樹家修平の反応は？ 竹内結子さん主演でドラマ化された話題作の続編を「トッカン」シリーズなど大ヒット作連発の著者が書き下ろしたハイクラスエントナメ！ 解説は女優の南沢奈央さん。

小学館文庫



◆下村敦史(しもむら・あつし)
1981年、京都府生まれ。2014年、『闇に香る嘘』で第60回江戸川乱歩賞を受賞しデビュー。著書に『真実の檻』『黙過』『同姓同名』などがある。

3月5日発売
定価:770円(税込)
文庫/336ページ
ISBN978-4-09-406896-2

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406896>

悲願花

下村敦史・著

家族で遊園地に行き、夢のような時間を過ごしたあの日。両親は火事で一家心中を図り、幸子だけが生き残った。十七年後、事務員として働く幸子は交際の隆盛に生い立ちを告白できず葛藤する。過去に決別しようとして両親の墓を訪れた幸子は、雪絵という女性に出会う。子供たちを乗せた車で海に飛び込み、一家心中を図ったシングルマザーの雪絵は、生き残ってしまったのだという。雪絵に亡き母を重ねる幸子は、次第に復讐心に囚われていく。加害者と被害者の思いが交錯した時、明らかにする衝撃の真実とは。生き残った者の苦悩と再生を描く慟哭のミステリー。

小学館文庫



◆太田和彦(おた・かずひこ)
1946年、北京生まれ。デザイナー・作家。日本各地の居酒屋を訪ね、多くの著作を発表している。現在BS11などに出演中。

3月5日発売
定価:770円(税込)
文庫/320ページ
ISBN978-4-09-406897-9

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406897>

月の下のカウンター

太田和彦・著

街をめぐる、居酒屋を訪れ、故郷を想う……。『居酒屋』で美味しそうに酒を飲み、料理を味わう太田和彦氏に憧れる御仁も多いかと思えます。今回は父親のこと、祖父のこと、故郷の思い出など、叙情あふれるエッセイを中心に太田和彦そのものを味わってくださ。しみじみと温かい、まるでお燗した日本酒のようにじわっときてきます。平成22年に刊行された単行本に書き下ろし12編を加えて待望の文庫化。

小学館文庫



◆古内一絵(ふるうち・かずえ)
1966年、東京都生まれ。第5回ボラ社小説大賞特別賞を受賞し2011年デビュー。著書に『風の向こうへ駆け抜けろ』『蒼のファンファーレ』『赤道星降る夜』『マイン・マイン』など。17年フランダースが青少年読書感想文全国コンクールの課題図書に選出。J-BY賞文庫作品部門を受賞。福島県議会議員にも選出。今年でデビュー10周年を迎える。

3月5日発売
定価:825円(税込)
文庫/360ページ
ISBN978-4-09-406898-6

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406898>

花舞う里

古内一絵・著

親友が亡くなったのは自分のせい、と心を閉ざしてしまっていた中学二年の杉本潤。逃げるように東京から母の故郷へと引越す。そこは七百年続く「花祭り」という神事、伝統芸能が根付く過疎地域だった。クラスメイトは三人。潤の転入により徐々に集落の中学生だけで少年の舞ができると皆が期待するが、祭りへの参加を拒否する潤。だが次第に、誰の心にも巣くう悩みや悲しみ、この世の不条理さを知るようになって……。守るべき伝統と受け入れざるを得ない変化。少年の心の成長と今を生きる人々を描く、美しく愛おしい再生の物語。解説は中江有里さん。

小学館文庫

小学館おいしい小説文庫

テッパン

上田健次・著

中学卒業から長く日本を離れていた吉田は、旧友に誘われ中学の同窓会に赴いた。同窓会のメインイベントは三十年以上もほったらかされたタイムカプセルを開けること。同級生のタイムカプセルからは『なめ猫』の缶ペンケースなど、懐かしいグッズの数々が出てくる中、吉田のタイムカプセルから出てきたのはビニ本に警棒、そして小さく折りたたまれた、おみくじだった。それらは吉田が中学三年の夏に出会った、中学生ながら屋台を営む町一番の不良、東屋との思い出の品で……。昭和から令和へ。時を越えた想いに涙が止まらない、僕と不良の切なすぎるひと夏の物語。



◆上田健次(うえだけんじ)
1969年生まれ。東京都出身。
2019年、第1回日本おいしい小説大賞に『テッパン』を投稿。翌々年、同作を加筆修正しデビューする。

3月5日発売
定価:704円(税込)
文庫/272ページ
ISBN978-4-09-406890-0

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406890>

小学館おいしい小説文庫

かすがい食堂

伽古屋圭市・著

憧れの映像業界に入ったものの、激務によって心身ともにダメージを負った楓子は、祖母が営む東京・下町の駄菓子屋「かすがい」を継いだ。一ヶ月経ち「おばちゃん」と呼ばれるのにも慣れた頃、夕刻にやって来てきつちり三百円分の菓子を買って帰る少年の存在に気づく。事情を察した楓子は、店の奥の台所で食事を提供することにした。貧困や摂食障害など問題を抱える子どもたちを迎えるのは、肉汁あふれるハンバーグ、ごはんが進む野菜炒め、つくるのも楽しいロールキャベツ、みんなで囲む寄せ鍋……!! 賑やかで温かい食卓が、居場所を失った子どもたちを救う。



◆伽古屋圭市(かこやけいち)
2009年にパチプロコードで第8回このミステリーがすごい!大賞優秀賞を受賞し、2010年にデビュー。著書に『冥土ごはん 洋食店 幽明軒』など。

3月5日発売
定価:638円(税込)
文庫/224ページ
ISBN978-4-09-406891-7

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406891>

小学館文庫(キャラクターン!)

大阪マダム、後宮妃になる! 二回戦は熱闘猛虎黎明編

田井ノエル・著 / カズアキ・イラスト

大阪で生まれ難波で育ち道頓堀で死んだ——そんな前世の記憶を持つ鳳翔国の後宮妃、蓮華。この世界にも、たこ焼きと野球を広めようと奮闘する蓮華の前に奇妙な妃が現れて!? コテコテ大阪魂×中華後宮、第一弾!

定価:本体682円(税込) 272ページ
ISBN978-4-09-406888-7
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406888>

おばさん探偵 ミス・メープル

柊坂明日子・著 / トミイマサコ・イラスト

都内一等地に建つ一軒家に住む楓子さんの正体は、本能的には大変不本意ながら、売れっ子の覆面ハードボイルド作家だ。令和に生きながらも心は永遠に昭和とともにある、おっとり者の『おばさん名探偵』ここに誕生!

定価:本体638円(税込) 224ページ
ISBN978-4-09-406889-4
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406889>

3月5日発売 文庫判

File

File

File

file

file

File

File

File

File

小学館時代小説文庫

さんばん侍 利と仁

杉山大二郎・著

二十四歳の鈴木颯馬は、元は町人の子。幼くして父を亡くし、母と貧乏暮らしが長かった。縁あって、手習い所で働くうち、大器の片鱗を見せはじめた颯馬だが、十五歳の時に母も病で亡くし、天涯孤独の身となる。が、捨てる神あれば拾う神あり。ひょんなことから、田中藩江戸屋敷に勤める鈴木武治郎に才を買われ、めでたく養子に。だが、勘定方に出仕したのも束の間、田中藩領を我が物にせんとする老中格の田沼意次と戦うことに。藩を救うべく、訳ありで、酒問屋麒麟屋の番頭となった颯馬に立ち塞がる壁、また壁！ 剣客商い娯楽小説第一弾！

◆杉山大二郎(すぎやまだいじろう)
1960年、東京都生まれ。営業革新分野では国内第一のコンサルタン
ト。著書に『至高の営業』『ザ・マネジ
メント』『嵐を呼ぶ男！ NOBUNA
GA』がある。

3月5日発売
定価：836円(税込)
文庫／368ページ
ISBN978-4-09-406886-3



<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406886>

小学館時代小説文庫

若殿八方破れ(四)

鈴木英治・著

仇敵・似鳥幹之丞を追ひ、西を目指す真田俊介とその仲間たち。一行は広島・才蔵寺で小指を切り取られた女の死体を発見する。しかも女は投宿先の隣の旅館で働く飯盛女だった。死骸の発見者として俊介の取り調べにあたった広島町奉行所の町廻り同心・上迫広兵衛は、俊介たちに事件が解決するまで広島に留まることを厳命する。もとより知らぬ顔などできない俊介は、上迫に探索の協力を申し出る。一方、そんな俊介たちを影から付け狙う男がいた。男はかつて中山道馬籠の茶屋に立ち寄った俊介を銃撃した、あの善造であった——。傑作廻国活劇、待望の第四巻！

◆鈴木英治(すぎえいじ)
1960年、静岡県生まれ。1999
年第1回角川春樹小説賞特別賞受
賞。歴史小説に『義元 遼たり』他。
シリーズに『口入屋用心棒』『双葉文
庫』『江戸の雷神』(中公文庫)など。

3月5日発売
定価：726円(税込)
文庫／320ページ
ISBN978-4-09-406887-0



<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406887>

File

File

File

file

file

File

File

File

File

File

File

File

file

file

File

File

File

File